



葵タイムス



命名: 山本 一郎

和歌山大学に県で初めての「大学ローバー隊 (和歌山第24団)」誕生！ コロナ禍の中 三密を避け 8月8日発団式



令和2年8月8日紀三井寺の南コミュニティセンターに於いて県連主催で発団式が開催されました。

コロナ禍の中での開催で来賓・出席者の人数も制限。安全対策にも配慮しながら地元友団として和歌山第21団のスカウト・指導者らが見守る中、ローバースカウト7名が力強く「ちかい」をたてました。

発隊式後に浦島キャンプ場での初めての「発隊記念キャンプ」に元気に出発しました。

◇当日のご来賓◇

- ・和歌山市教育局長 津守 和宏
- ・和歌山中央ライオンズクラブ 会長 太田 達也
- ・日本連盟団支援・組織拡充委員長 木村 寿宏
- ・日本連盟管理部・総務課 課長 額谷 征行



(上)スカウト代表挨拶をする宮本佳奈さん

(右)「ちかい」をたてるローバースカウト



この度、和歌山大学「ローバースカウト隊」を和歌山第24団として発団させていただきました代表の宮本佳奈です。正直に申しますと、こんなにも早く発団することができたことに驚きを隠せません。

私がしたことはただ、ボーイスカウトを多くの人に知ってもらいたいという思いを胸に、一緒に楽しんでくれる仲間と助っ人を探ただけです。

改め素早く実現してくださった和歌山連盟の指導者の方々に本当に感謝しております。

さて、発団を機に、これからもっと多くの方が、和歌山第24団に注目すると思うのですが、私たちはボーイスカウトだけを強調することなく、アウトドア活動を通して「ボーイスカウト」の良さを知らせてもらうこと

をモットーに活動しているということを知って頂ければ嬉しいです。

ビーバーから入団する従来のボーイスカウトとは違い大学から入るスカウトは、スカウト経験のない人たちです。私にとっても初めての試みで、上手くいくかわかりませんが、ボーイスカウトを好きになってもらうために日々活動を考え、仲間と共に成長して行けたらと思っております。

これからも私たちの活動を温かく見守っていただければ幸いです。最後に、和歌山連盟を始め、多くの人に支えられてこの団ができたという感謝を忘れず、元気に活動していきたいと思っております。

和歌山第24団ローバースカウト隊代表 宮本 佳奈

Scouting Never Stops!



和歌山第18団カブスカウト隊 世界の料理対決

カブスカウト隊長 新屋 美穂

コロナウイルス感染予防のため集会が出来なかった5月に、県連盟コミッショナーからカブスカウトが家で行うことが出来るプログラムが届き、自隊で行うことが出来るプログラムに少しアレンジを加え、カブスカウトがおうちの人と共に考えておうちで出来るようにしました。

そのプログラムの最終回が10月25日の隊集会で「世界の料理対決」となりました。組集会では何を作るかを決めて、材料には何が必要か話し合い、隊集会でスーパーマーケットへに買い出しに行き、みんなで調理を行いました。

最初のミスターXからの「おうちプログラム」の伝言は、古代エジプト文字（ヒエログリフ）でしたので、おうちの人と一緒に解読し、料理を考えてレシピを使って隊長に報告書を郵送することからスタートしました。1回の組集会を行い、今回の隊集会の中でミスターXにスカウトが作った料理を食べていただきました。

1組が「ぎょうざとフルーツポンチ」、2組は「シチューとパフェ」を作り、どちらが美味しかったかをミスターXに決めてもらう料理対決を行いました。スカウト達は、自分たちが考えて食材を買い、自分達で調理し、後片付けまで行い、大変満足して帰りました。



コロナ禍の中 負けずに、元気に 活動しています！

3月以来県連・地区の行事の殆どが残念ながら中止となりました。

そんな中でも各団では、感染予防に配慮し、工夫を凝らし様々な活動を続けています。



和歌山第22団カブ隊

和歌山22団のカブ隊は、「コロナを正しく恐れる」をモットーに、これまでと変わらない集会を心がけて活動しています。特に子供達が休校により自宅待機を余儀なくされていた時期は(4月)、訪れる人もまばらな片男波で集会を開き、磯遊びをさせてコロナとは無関係の大自然の心地よさを満喫させてあげられました。

また、今年は学校でプールがないことから、コロナ対策をしっかりしている河西公園プールで集会を開きました。河西公園プールは監視員の数の方が多いぐらいのほぼ貸切状態で、子供達を安全に思う存分遊ばせることができました。また9月には白崎青少年の家で舎営を行いました。ここも他の宿泊者がおらず、宿泊部屋をスカウトの家族単位であてがうことができ、安全な活動できました。コロナ禍、あえて人が行かない場所に行くことで逆に安全な活動をしています。

カブ隊隊長 隠岐 一雄



(上)白崎海岸での集合写真
(下)海岸の清掃奉仕活動

海南第1団 カブスカウト隊 “新しい生活様式”を踏まえ、活動スタート!!

カブスカウト隊 隊長 山口 万実

Scouting Never Stops!



スカウト活動が徐々に動き出しました。自然の中で、のびのびと元気に活動できるように少しずつ楽しい時間を増やしています。

今後も実体験活動で、子ども達の自己肯定感をうんと伸ばしてあげたいです。

8月はデイキャンプ、9月はスカウトの日カントリ大作戦、そして10月は「げんきの森」ハイキングを楽しんだところです。

家族対抗でクイズを解いてもらい、スカウト同士の密を避けるように工夫しました。今回は18団さ

んから頂いた『フィールドビンゴ』をしながら山を歩き、キンモクセイやホウや栗の実を見たりして楽しみました。他にもナゾナゾや、匂いを当てるキムスで大はしゃぎ。とても楽しい一日でした。

小さな感動の連続が生きる力を大きく育みます。新しい生活様式で、新しい日常に向けてプログラムの見直しをしながら、これからもスカウトと一緒に楽しく活動していきたいと思っています。



和歌山第14団 《半年ぶりの団キャンプの報告》

団委員長 土橋 弘

団として半年ぶりのキャンプを橋本市 神野々で、10月31日～11月1日の一泊二日で実施いたしました。

参加者はスカウト2名・指導者6名計8名。食事は密集を避けるためレトルトが主体。ハイキング、キャンプファイヤーもマスク着用でいつもと違う感じでしたが、天候にも恵まれて、子ども達も久しぶりのキャンプこれまで以上に大いに「はしゃいで」いました。

今回は、他の候補地も下見をしましたが、整備されたキャンプサイトで距離的にも近く良い選択だったと思います。



Scouting Never Stops!



海草第1団

新型コロナウイルス感染拡大が叫ばれる中、海草第一団では6月くらいから「感染防止対策」を実施しながら隊集會を徐々に実施するようにしました。

各隊の集會では、事前にSNS等で保護者と健康状態を確認して、マスクの着用、当日集會時には検温を実施。活動中も集會に使うテーブル等の需品はこまめに除菌シートで消毒。スカウト等には手洗いとアルコールスプレー除菌を励行し、できるだけ屋外での活動にしました。

特にボーイ隊の9月のプログラムでは、宿泊を伴うキャンプを実施するために一人用のテントを団で購入し、初めて個別に就寝しました。スカウト達には新鮮な体験だったようです。

また10月の集會では、個別のアルミ製飯盒（メスティン）を準備して、スカウトごとに焼き鳥缶の炊き込みご飯に挑戦しました。食材や調理器具を供用しないための工夫です。

このメスティンは今後、隊長からスカウト全員に個人装備として提供され、これからも活用していくつもりです。

副団委員長 赤居 憲



ビーバー

和歌山第21団

カブ隊

●紀伊風土記の丘ハイキング／カブ隊●

コロナウイルスの関係でスカウト活動が制限される中、やっとハイキングができました。

紀伊風土記の丘にある、中に入ることができる古墳をポイント地図を頼りに、組ごとで探して回りました。折り返し地点には埴輪の置いてあるエリアがありました。何度も行ってますが知りませんでした。桜の花が咲いており、花見を兼ねて途中でお昼のお弁当を食べようと計画していましたが、適当な場所がなく、スタート地点に戻って昼食をとりました。久しぶりにみんなで食事ができて良かったです。お互いが近づいてはいけないことにしていましたが、相撲を取ってストレスを発散していました。



●紀美野町・毛原宮 ビーバー隊カブ隊合同ハイキング●

参加スカウトはビーバー隊・カブ隊1組・2組の3組に分かれました。紀美野町毛原宮の公園を出発して、旧毛原小学校を目指してコマ地図を頼りに歩きました。途中、交番の前を通りかかるとおまわりさんが出迎えてくれ、昔、和歌山22団のボーイ隊に所属していたとのことで少しお話をしました。少し進んで原宮神社でトイレ休憩。毛原オートキャンプ場では川遊びをしている他府県の人でいっぱいでした。この後、川沿いから山に入り目的地の旧毛原小学校にカブの2組は到着できました。

校舎は木造で体育館はコンクリート製です。今は使われておらず、毛原中学校と一緒に校舎に移転しています。ビーバー隊はここに寄らず通り過ぎてスタート地点に戻って行きました。

この日とても暑かったので、午後からは川遊びをしてほったた体を冷やしました。ライフジャケットを着け流されたり、魚を捕ったりして大変楽しい様子でした。

和歌山第19団

「世界遺産の神社の清掃と花壇の手入れ」

新型コロナウイルスの感染拡大により、スカウト活動が制限されるなど、巷では各種のイベントが中止となるなどし、また、秋祭りなども神事のみと大変寂しい限りです。

そのような中、スカウト活動をどのように展開してゆくか試行錯誤をしている現状です。

当団では、「日々の善行」とはゆかない訳ですが、例年かつらぎ町にある世界遺産の「丹生都比売神社」周辺の清掃と神社前の花壇の手入れを実施しています。今年もソーシャルディスタンスを守りながら、世界遺産の自然の中で他団と合同で実施しました。

スカウト達からも自然の中での作業は気持ちが良いと好評です。又、地域を訪れる観光客からも「きれいなお花ですね」と喜ばれています。

そして作業後には、隊長の畑でとれた「季節ごとの農作物」のご褒美が待っています・・・。



和21団 BS 隊

ボーイスカウト隊イーグル班・班長 西田 圭佑
元々、キャンプは5月に予定していましたが、今回のコロナ禍の影響で活動が出来ず、約4ヶ月後にやっとキャンプが出来ることになりました。

うれしい気持ちと少しの不安もありました。もしもコロナ感染が起こったら大変なことになるでしょう。しかし、今回の3泊4日のキャンプには、コロナ対策として、テントは「1ト1張り」で行うことになりました。実際、寝るときには1ト1張りなので気も遣わずにグッスリと眠ることができ快適でした。

キャンプで行うハイキングでは、いつもだと計画より帰る時間が遅れることが多いのですが、今回は早く戻って来ることが出来ました。と、言うのも、途中の休憩の回数を減らし、1回の休憩時間を長目に変えたからです。

自分が班長になって初めてのキャンプは、ハイキングも大成功。その他の活動も仲間と一緒に楽しく出来て、とても思い出深い活動となりました。今度も、いろんな活動に挑戦していきたいです。



和歌山大学RS隊訓練 「百名山登山」

和歌山大24団 山口 昇孝

前は滋賀県最高峰の伊吹山(1377m)に。そして今回は、三重県最高峰の大台ヶ原日出ヶ岳(1695m)へ地形図とコンパスの訓練にRS隊員と共に行ってきました。

同じ訓練をするならベストシーズンに。最高の景色を見ながら、高い山へ登る訓練は、辛さの向こう側の心に残る至福の時間を堪能できる活動です。

「山は人を哲学者にする」と言う諺があるように、体力作りだけではなく、心が大きく成長するきっかけにもなります。安全に対する意識や技術、仲間との絆、スカウト技能も高め、必ず社会へ出た時に役立ち自分自身を助けてくれます。せっかく関西の大学に来たのだから、関西でしか出来ない何かを達成できたら素晴らしいなと思います。

関西百名山3座制覇も残すは1座。関西セブンサミッター(各県の最高峰制覇)も見えてきました。これからもどんどん素敵なことに挑戦する活動をサポートしていきたいと思っています。



Scouting Never Stops!



Hashi 2の「らしさ」は一切変えずに

私たち橋本第2団も、3月からの三ヶ月間近く活動停止を経験しました。しかし、ビーバーから指導者までが隊を跨いで家族のようにつながる、このHashi 2が40年かけて培ってきた「伝統・雰囲気・ノリ」を落とすことなく5月下旬には活動を再開させ、各隊がコロナ禍の中、年間行事計画を変更させながら「Hashi 2 らしさ」をもって活動を続けています。ソーシャルディスタンス、検温、健康チェック、手指消毒…。新しい生活様式として活動に求められるものは以前に比べ増えましたが、それらは決して活動の温度を下げるものではありません。ウィズコロナの時代、少しでも明るい話題／活動の様子を届けられればと思いこれからもこの「らしさ」を大切に、スカウティングを続けていきたいと思ひます。

橋本第2団



ビーバー隊

5月30日には「巣ごもり」からの復活を果たしたビーバー隊です。

春の景色を写真フレームに切り取りながら、市立公園までの「プチハイキング」と、非常食体験を兼ねた「空き缶料理」(サンマ缶ご飯づくり)をしました。初めての全員マスク姿でしたが、ビーバーらしいノリは何も変わらず、スカウト達だけではなく、保護者・指導者も一緒に久々の楽しい一日を過ごしました。



カブ隊

活動自粛中は「グループライン」を活用し、保護者さんを交えてスカウト達の成果を発表する場を設ける活動を行いました。

スカウト達はグループラインを通じて隊長からの「ミッション」を受け実行。再びラインを通じて発表してもらうものです。今回はチャレンジ章の「(5-4)料理家」の取得を目指し、スカウト全員から奮闘する様子と保護者さんから心温まる感想も頂きました。

那賀第4団

防災訓練に参加して

10月4日、岩出消防署にて防災訓練に参加させていただきました。2時間の中でビデオや地震体験車を使っての「震度7の地震」にあった時の正しい対処法、水の入った消火器を使用した消火訓練を体験させていただきました。

その後、消防車・タンク車・救急車の見学と説明をいただきました。今回の防災訓練ではコロナの影響があり、室内で行う「疑似煙」を使用した避難訓練が出来ず、スカウト達にとって心残りだったようでした。しかしながら、訓練全体を通して今の自分の出来ること・出来ないことを認識する良い機会になりました。 (カブスカウト隊 隊長 小西 亮平)



伊都第1団

創立70周年記念デイキャンプ

長い梅雨も明け最高の天気にも恵まれた8月1日、計画していた一泊二日のキャンプもコロナ禍で、予定を短縮して奈良県野迫川村でのデイキャンプを実施しました。当日はマスク着用。検温もし、ソーシャルディスタンスをとりながらの行動です。

野迫川村は高野山とは古くからご縁があり、お大師様が開山された時に勧進されたという1280mの位置に鎮座される立里荒神社に参拝し、団の繁栄と新型コロナの早期終息を祈願しました。

野迫川の清流は冷たく美しいので「アマゴの放流つかみ取り」にはもってこいの川です。元気のいいアマゴ40匹を放流し、スカウトたちも頑張って16匹をゲット。夕食にはアマゴを塩焼きにし、おいしく頂きました。

夜の集いは、山間に響くバイオリン演奏と地元・野迫川太鼓で70周年行事に花を添えて頂き、楽しい一時を過ごすことが出来ました。協力頂きましたスタッフに心より感謝申し上げます。

Scouting
Never
Stops!



カントリー大作戦

(スカウトの日の活動)

伊都第3団カントリー大作戦(スカウトの日活動)は、環境整備を行いました。

今年はコロナから身を守るためにソーシャルディスタンスを保ちながらの清掃活動です。中飯降駅より西向きガードレールを清掃しました。

団委員に草刈りをお願いして、スカウト達はタワシをもってガードレールを清掃しました。最終的には噴霧器で水洗い。皆さんの協力で見違えるように綺麗になりました。

コロナに負けない元気いっぱいのスカウト達でした。



伊都第3団

BVS隊・CS隊

へらぶな釣り



ボースカウト伊都第5団です
2020年10月18日の日曜日にビーバー隊とカブ隊の合同隊集会で「へらぶな釣り」を行いました。

場所は橋本市の「隠れ谷池」です。昭和40年に紀州製竿組合の研究のため開発された池ですが、現在は一般にも開放されていて、貸竿もあり初心者でも楽しめます。

前日の雨が嘘のように晴れ、絶好の活動日和となりました。スカウトハウスに集合し、コロナ対策のため2週間内の体調報告と検温をして出発・・・

現地のスタッフに餌の作り方やウキの付け方などを指導頂きました。まき餌がポイント。丁寧に教えてもらい「へら鮒釣り」のスタートです。

釣ることが出来るのかと心配でしたが、最初に釣り上げたのはビーバースカウトでした。3時間ほど釣りを楽しみ、終わりに「大物賞」の表彰を行いました。一番の大物を釣り上げたのも、ビーバーでした。スカウトは全員釣りを楽しめましたが、指導者二人は全く釣れず、スカウトに責められる一日となりました。脱帽・・・

伊都第5団

那賀第2団 スカウトの日

全国一斉の9月21日の「スカウトの日」には実施できませんでしたが、那賀第2団では9月27日に紀の川市よりお借りしている那賀第2団の花壇に花を植えました。

ボーイ隊は午前8時より団委員と一緒に整地と清掃を行い9時からビーバー隊の保護者の方にもお手伝い頂きスカウトと一緒に約1時間できれいに花を植えることが出来ました。

同日カブ隊は別行動で、加太の友ヶ島を目指しましたが、晴天にもかかわらず波が高くて連絡船が欠航となり、磯辺の探索と四季の郷公園での活動となりました。

活動の様子はYouTubeの那賀第2団チャンネルでご覧になれます。

<https://www.youtube.com/user/mukaikazu/videos>



田辺第1団

カブスカウト隊
カヌーと火起こし

団委員長 楠本 章朗

新型コロナウイルスの感染で泊まりのキャンプは中止となっているため、田辺第1団のカブ隊は8月10日、二川ダム上流の田辺市所有施設でカヌー体験とマッチを使わないで火起こしに挑戦しました。起こした火で持って行った食材をアルミホイルで包み焼きにして全員でおいしく昼食としました。

私が訪れた時にはすでにカヌー体験は終了し、火起こしの最中でした。カヌー体験をしている様子を撮影したかったのですが、道中思った以上に時間がかかり間に合いませんでした。残念なことでした。(そなえよつねにデスヨ!)



コロナに負けるな!

食事で勝負第1弾
「肉の燻製」

新宮第2団VS隊



各団より沢山の投稿を頂き誠にありがとうございました。

紙面スペースの都合上、文章の一部変更と省略を致し申し訳ございません。尚、今後とも楽しい報告等投稿ください。(編集委員会)

県連行事&活動予定表

11月19日	県連企画調整会議	センゴクバンダー
12月12日	近畿ブロック指導者養成会同	和歌山YMCA
12月17日	県連理事会&忘年会	(場所等未定)
2月13日~14日	第30回団委員長サミット	アパローム紀の国
2月14日	スカウト運動組織戦略セミナー	アパローム紀の国